

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価書

令和 7 年 1 月 2 4 日 (金)

第2回 学校関係者評価委員・学校運営協議会委員合同会議

実施日: 令和7年1月24日(金)午後4時～

会 場: 図書室

参加者: (学校関係者評価委員会・学校運営協議会委員)

河西壽人(委員長) 保延浩子 小宮山斉 松岡栄子 小林圭太 亀田歩美

加藤 忍 増坪広夫 五味正年

(学校側) 校長 山本成利 教頭 河西 修 教務主任 今野嘉昭

I 学校側から提案された内容

令和6年度自己評価, 令和6年度生徒用アンケート集計結果表, 令和6年度保護者アンケート集計結果表(いずれも甲斐市中学校5校の平均と本校の経年比較ができるもの)

II 協議された主な内容

(1) 自己評価及び生徒アンケートの集計結果, 保護者アンケート集計結果をもとに学校の現状(成果と課題)や取り組み等について情報を共有・協議し, 学校・家庭・地域の連携協力により学校運営の改善にあたる。

(2) 来年度の学校経営方針, グランドデザインの説明とその承認について。

<学校関係者評価書>

I 全体評価

自己評価

39 項目の質問によるアンケートを実施し, 全教職員(40 名)から回答を得た。R6 年度のデータでは, 合計 14 項目で 100%の肯定評価を得た(昨年度は 2 項目のみ)。特に【生徒指導】において 6 項目中 5 項目が 100%の評価を獲得した。一方, 甲斐市中学校 5 校と比較すると 8 項目で評価が低く, 来年度に向けての改善が必要である。

生徒アンケート

全校 500 名中 495 名から回答を得た。甲斐市中学校 5 校と比較して本校の肯定評価は 27 項目中 20 項目で上回った。R5 と比較して上昇した項目は 9 項目であった。

保護者アンケート

26 項目の質問によるアンケートで, 491 名の保護者から回答を得た。甲斐市内中学校 5 校と比較して, 26 項目中 24 項目で肯定的評価が上回り, 経年比較でも 21 項目中 13 項目が上昇した。

II 特 徴

自己評価より

【生徒指導】では, 「民主的で規律ある集団づくり」「生徒理解のためのコミュニケーション」「規範意識の醸成」「いじめや不登校の早期発見・対応」「率先垂範」の質問で高評価を得た。【学習指導】でも「個に配慮した授業」や「協働的な学び」の実践が 100%の評価を受けた。一方, 【学校教育目標・学校経営】の「PDCA サイクルの活用」「実態に即した教育実践」, 【学校運営】の「教職員の連携・協働」, 【学習指導】の「学びの意欲を喚起する授業づくり」「授業における ICT の活用」, 【生徒指導】の「キャリア教育の実践」などが前年よりやや評価が低くなっていた。さらに, 【地域との連携】についても「地域や保護者の情報収集」「保護者や地域への広報」が甲斐市の平均に達しておらず, 改善が求められる。職場の福利厚生や健康管理への配慮も低評価であり, 来年度の目標達成に向けて取り組みが必要である。

生徒アンケートより

「学校は楽しいか」「授業は楽しいか」「数学の授業内容がわかるか」などの項目で肯定的評価が上昇し、「先生はよく勉強を教えてくれるか」「先生はあなたの良いところを認めてくれるか」も高評価を得た。また、学校の特色である「挨拶」「フリースクール」も肯定的評価が上昇している。一方、「いろいろなことを相談できる友達がいるか」「人前で意見を言えるか」はやや低く、フリースクールの推進や学級集団づくりにより一層力を入れていきたい。「困ったときに相談できる先生がいるか」「将来の夢や希望を持っているか」についても教師と生徒との信頼関係づくりや生徒一人一人に自己肯定感、自己有用感が育まれるような取組を行っていきたい。「地域行事に参加しているか」はコロナ禍以降停滞しており、地域との連携が必要である。

保護者アンケートより

「学校は楽しい」「教育活動の様子がわかる」「保護者・地域の声に耳を傾けている」「授業参観が有益」「挨拶を奨励している」「将来の夢や希望を持っている」「学力向上に力を入れている」「ICT活用の授業に取り組んでいる」「連絡がさくら連絡網で届く」などの項目は高評価を得た。「授業への熱心な取り組み」「授業内容の理解」「宿題の実施状況」「困ったときに相談できる友達」「相談できる先生がいるか」「PTA 活動への参加」はやや低く、今後の取り組みが求められる。保護者からの好意的な評価が多いことに感謝しつつ、課題となる部分については全教職員で改善に取り組みたいと考えている。

Ⅲ 今後の課題として意識されたいこと

- ・学校の福利厚生や健康管理について、職員の多忙化による不安があることがわかる。今後は、計画的に取り組む、具体的な方策を考えて実施する必要がある。(小宮山)
- ・現在、行事の精選を行っている。加配教員や支援員の不足の中で先生方の負担が日頃から大きいと感じている。(校長)
- ・小中連携の取組として、11月に中学生が小学校で出前授業を行ってくれた。その時の中学生の表現力が素晴らしいと感じた。その中学生の言葉からも敷島中には相談できる先生が多いと聞き、来年も良い環境を提供し、敷島中の更なる躍進を期待する。(加藤)
- ・調査には数値として表れない成長も見られ、敷島中の自己表現力の高さが評価されている。教育活動の推進によって敷島中の生徒が高い資質や能力を身につけていることがよくわかる。(委員長)
- ・息子の中学校生活が、学年が進むにつれ楽しくなったことがわかり、学校が良い環境を提供している。しかし、少数の生徒にも目を向け、自己表現できない生徒の支援も重要である。今後はアンケートに自由記述をつくるなど工夫してほしい。(小林)
- ・本校では定期的な調査やICTを活用した調査を行い、生徒の声を反映している。昨年度から取り組んできた制服の見直しや生徒心得の設定にも生徒の意見を取り入れ、保護者・生徒の理解を得るよう努めてきた。(校長)
- ・今後も生徒、保護者、地域と連携しながら教育活動をすすめていきたい。学校や保護者は普段から生徒の声に耳を傾けることが大切である。今後も様々なツールを介して生徒の思いを把握してほしい。(委員長)
- ・学校として地域の行事への参加を推進してほしい。(松岡)
- ・部活動等で忙しいが、学校としてはできるだけ地域の行事に参加してほしいと考えている。地域行事への参加はコロナで一時寸断されたが、今後は地域と連携して復活させたいと考えている。本年度は防災訓練や餅つきなど地域と連携した取り組みを進めることができた。(校長)
- ・敷島南小でも挨拶指導に力を入れている。敷島中は学校内外での挨拶を推進し、下校時にも地域の方々に中学生が挨拶してくれ本当に素晴らしいと感じている。(五味)
- ・生徒会の取り組みで生徒たちが自主的に挨拶運動や美しい下駄箱の取り組みを実施している。(校長)
- ・小学校の運動会にも中学生が多く参加してくれ、片づけまで自主的に手伝ってくれた。中学生が積極的に参加してくれることに感謝している。中学生の成長を実感している。(増坪)
- ・娘は家では会話がなく、スマホの使用が多い。家庭でも娘との会話を増やしたいと考えている。(亀田)
- ・本校では全校体制で帰りの会にフリースクールを実施し、人間関係の構築とコミュニケーション力の向上に努めている。お題を決めて生徒は必ずリアクションをしながら和やかに会話を楽しむ取り組みを実施している。その成果は日常生活や授業にも現れている。(校長)
- ・生徒の成長が感じられ、勉強する姿勢や挨拶が素晴らしい。特に3年生の成長や頑張りに感動している。先生たちの情熱や熱意にも頭が下がる思いである。(保延)

Ⅳ 最後に来年度の学校経営方針(案)について承認をいただいた。

記載責任者

甲斐市立敷島中学校 学校関係者評価委員会委員長 河西 壽人

